

(様式2)

4	5	5	0	1
---	---	---	---	---

令和2年度 自己評価及び学校関係者評価書

令和3年3月24日
市立札幌清田高等学校

1 本年度の重点目標

1. 生命を守る指導および規範意識を育む生徒指導の推進
2. 自己肯定感・自己有用感を高める特別活動の推進
3. 生涯にわたって学び続けられる力の育成
4. 適正な進路指導の推進
5. 国際理解教育の推進およびグローバルコースの成果の共有
6. 保護者・地域から信頼される学校づくりの推進

2 本年度の経営方針

1. 豊かな人間性を養い、これからの社会をたくましく生き抜く力を育成する。
2. 基礎基本に基づいた確かな学力を育成する。
3. 生徒の進路目標を早期に確立させ、その実現を支援する。
4. 将来の学校像構築のための教育課程編成を行い、学校課題の改善・改革に取り組む。

3 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
資質保障	・学校は安全な場所として認知されているか ・規範意識をもって学校生活を送ることができているか ・学校生活に積極的に関わっているか	A	・学校がいじめなどの不安がない安心できる場所として認知されている ・悩み等に対する相談体制が校内にできており、生徒に周知されている ・決まりごとに対する意識が高く、生徒たちの規範意識は高い。 ・課外活動について限られた条項化ではあったが生徒たちは積極的に参加している。 ・学校行事も中止や規模縮小となりながらも生徒会を中心に生徒たちは積極的に実施の方策を探り、満足度も高かった。	A	A
学校関係者評価委員による意見	1-(1)(2)等の否定的な回答に対して、どのように対応するのか(否定的とした理由・内容等を含めて)、検討をして頂ければと思います。 新型コロナウイルス感染症対策をふまえながら、学校生活に積極的に関わっていることが感じられた。 学校が安全な場所で生徒への相談への体制が十分できているとうかがえます。コロナ過で6月からの授業、様々な行事の中止など生徒、保護者の心配はあったかと思いますが、時期の変更や規模縮小などの実施への取組みにより、生徒たちも参加ができ満足度も高かったものだと思います。				

(様式2)

学力保障	<ul style="list-style-type: none"> ・学ぶ意欲を育むための授業が行われているか ・生徒の知的探求意欲を高める授業へ取り組んだか ・課題探究的学習の実践研究に取り組めたか 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・授業は工夫されており、分かりやすさを意識した内容になっているという生徒からの意見が増えている ・カリキュラムについては過渡期であるが、単位制の年次への周知はうまくできていると思われる ・生徒の主体性が学びの中で引き出しきれていない部分はあるものの、生徒自身による取り組み姿勢は良い。主体性が育つ教育課程について今後検討する余地がある。 	A	A
学校関係者評価委員による意見		<p>主体的、意欲的に取り組む態度には、教育方法の改善が必要かと思えます。今後の先生方の研修に期待をしています。また、新しいカリキュラムに期待しています。その内容を地域に発信して頂ければと思います。</p> <p>(10)の質問で、教職員、生徒、保護者ともに「あまり思わない」が4分の1を占めている点について注目すべきではないか。</p> <p>自分で課題を設定して探求的に学ぶ課題探求的な学習の取入れについて、教職員の3割が取り入れていないとの回答となっており、検討改善を期待します。</p>			
進路保障	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒、保護者に対して面談や講習は十分に実施されたか ・進路実現に向けての講習や模擬試験は十分に行われたか 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒に対しての面談や講演会が充実しているが、保護者向けの講演会等については今後検討の余地がある。 ・進路対策のための講習や模擬試験は十分に行われている。 	A	A
学校関係者評価委員による意見		<p>生徒の進路の多様化、大学入試方法の多様化や大学の学修内容自体の変化が早くなっています。生徒のみならず、保護者へも迅速な情報提供を期待しています。</p> <p>大変な状況の中、進路対策のための講習や模擬試験は十分に行われていることが理解できた。</p> <p>「保護者向けの講演会等」について、早急に検討し、実施する必要があるのではないかと。適切な講習や模擬試験は行われている事がうかがえます。引き続き進路実現に向けて学力向上等などへの取り組みをお願いします。</p>			
改革推進	<ul style="list-style-type: none"> ・国際理解教育は推進されているか 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・国際理解教育への生徒の関心や意欲が普通コースでも高くなってきた。 ・改善傾向ではあるが各教科の授業の中で国際理解に十分触れられているとは言えず、工夫の余地がある。 ・学校外に対して清田高校の国際理解教育を周知する工夫がオンライン等で行われた。 	A	A
	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者・地域に学校が開かれ、信頼される学校となっているか 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学校から外部への発信は十分に行っていると感られる。 ・地域との交流や小中学校との連携はコロナ禍の状況では十分に実現できなかった。オンラインでの双方向交流に活路を見出すべきと考えた。 ・学校外からいただいた意見を教育活動に還元できていると考えられる。 	A	A

(様式2)

学校関係者評価委員 による意見	<p>グローバル化した今日において必要な教育だと思いますので、教科によって温度差はあると思いますが、全校としての取り組みを期待しています。ICT の活用・工夫により、新たな方法も検討して頂けたらと思います。</p> <p>御校のウリの一つである国際理解教育の部分が、まだまだ生徒の満足のいくレベルに達していないように思われる。早急に改善すべきではないか。</p> <p>「ダルニー奨学金」寄贈に関して、北野地区の町内会への働きかけや北野まちづくりセンターに回収ポストの設置依頼など地域と協力しての活動があり、こうした活動から信頼関係が成熟されていくものと考えます。</p>
--------------------	--